

「令和元年度 日向土木管内大規模氾濫等減災協議会」開催

市町村、気象庁、県等が連携・協力し、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的な推進により、社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的として協議会を設置しました。

今回の協議会では、災害に強い地域づくりに向けて、これまでの現状と課題を整理して減災のため概ね5年間で達成すべき目標と取組内容をまとめた取組方針のフォローアップを行いました。

開催概要

- 日時：令和元年
5月30日（木）
- 会場：喜重会館

議事内容

- ・規約の改正について
- ・日向・入郷地区の減災に係る取組状況について

協議会の出席者

機関名	役職等	氏名	備考（代理等）
気象庁 宮崎地方気象台	台長	吉松 和義	代理：防災管理官 堤 雅也
日向市	日向市長	十屋 幸平	
門川町	門川町長	安田 修	
諸塚村	諸塚村長	西川 健	
椎葉村	椎葉村長	椎葉 晃充	代理：副村長 黒木 保隆
美郷町	美郷町長	田中 秀俊	
宮崎県 総務部	危機管理局長兼危機管理課長	温水 豊生	欠席
県土整備部	河川課長	高橋 健一郎	
	砂防課長	原口 耕治	代理：課長補佐 永友 教治
日向土木事務所	所長	中村 安男	

委員の方の主な発言

- ・住民に避難していただくための情報発信の難しさを痛感している。伝える方法を工夫していくことで、住民の理解を深めていきたい。
- ・予測できない災害に危機感が募る。高齢者夫婦や一人暮らしの世帯が増えているため、消防や民生員等と連携し、「自分の身は自分で守る行動」に結びつける啓発や情報を発信していきたい。

